

幕別 風土記

特集 『むかしを偲ぶ』より



高齢のため一人また一人と欠ける開拓時代の語り部。

今のうちに開拓時代を幼い目で見てきたこと、少年・青年時代の体験談などを残しておかなくては、と昭和53年4月から仮称「開拓苦労話」をテープに収める作業を始めた。

録音テープから文章を起こし、元町長・大石忠夫命名の「幕別風土記」第一集が昭和56年、第二集が58年に発刊された。

当時の家屋や食べ物、それに自然災害の厳しさなど苦労話はもちろん、依田勉三のもとで働いていたときの話など非常に興味深く、後世に伝えていきたい話がたくさん集められている。

第一集、第二集ともに非売品であり、今でも貴重なものとなっている。
図書館での貸出可能。

町民文芸

まくべつ

第13号・1997